



プロジェクト名称

地域とつくる〈大宮イルミネーションプロジェクト〉

プロジェクト活動概要

大宮駅東口商店街（以下、商店街）でのイルミネーション活動は過去 8 年間に渡って取り組まれてきた。昨年は当プロジェクトが、NHK 番組「ひるまえほっと」や建設通信新聞など様々なメディアでも紹介されるなど、商店街のみならず、大宮区、見沼区の地域、さらにはさいたま市にも広く知られるようになったといえる。これらの実績が評価され、本年度は新たに見沼区役所、大学近隣にある 2 つの小学校、カトリック大宮教会から活動の要請があった。本活動は、一つの商店街の活性化から地域の活性化へと活動範囲を拡大している。

活動状況報告 & 活動写真など 活動期間：2015 年 1 月 1 日 ～2015 年 3 月 31 日

年間活動状況報告

日付	活動概要	活動場所	活動内容
12/12 ～ 1/16	イルミネーションの点検	大宮駅東口商店街 カトリック大宮教会	カトリック大宮教会に設置しているイルミネーションの点検
1/17	松屋ビル、大栄橋の撤去	大宮駅東口商店街	イルミネーションの撤去作業
1/18	街頭イルミ、灯笼イルミ、教会イルミ撤去	大宮駅東口商店街	イルミネーションの撤去作業
1/19	武蔵野銀行ビルイルミネーションの撤去	大宮駅東口商店街	イルミネーションの撤去作業
3/13	反省会、引継ぎ	芝浦工業大学	1 年間を振り返り、反省点と来年度の方針を話した。

活動写真



東大宮アートフェスティバルの点灯風景



コンペティションの様子



蓮沼小学校での設置の様子



区役所前ベンチイルミネーション点灯風景



東大宮サマーフェスティバルの風景



大宮駅東口商店街でのワークショップの風景



春野小学校お絵かきイルミネーションの点灯風景



カトリック大宮教会の点灯風景



大宮駅東口商店街の点灯式の様子



灯籠イルミネーションの点灯風景



街灯イルミネーションの点灯風景



見沼区役所の点灯風景



受賞・メディア取材（新聞、広報誌、TV 等）

- ・日本経済新聞さいたま版（2014 年 8 月 19 日掲載）
- ・もぎたてさいたま情報 <http://www.stib.jp/mogitate/2014/12/2014illuminations.html>
- ・Jcom チャンネル（2014 年 12 月号掲載）
- ・たまログ（2014 年 11 月号掲載）
- ・ホットペッパー 浦和・大宮版（2014 年 12 月号掲載）

プロジェクトを振り返って

2014 年度の本プロジェクトは、毎年行っている大宮駅東口商店街のイルミネーションに加え、蓮沼小学校、東大宮アートフェスティバル、東大宮サマーフェスティバル、春野小学校、見沼区役所、カトリック大宮教会、と数多くのイルミネーションの設置を行った。また、大宮駅東口商店街のイルミネーションでは、商店街の方々と協働によるイルミネーション製作を行うことで、「参加型のまちづくり」を実践できたと思う。しかしその反面、プロジェクト数の増加と作業量の増加により、メンバー同士の情報共有がうまくできず、イベントの直前になって作業に追われることが多かった。また、LED などの資材の点検、総量の把握が出来ていなかったことが反省点として挙げられた。来年度は、今年度の反省を踏まえ、各プロジェクトの人数、運営を見直し、情報共有や資材管理を徹底していく予定である。

今年度は、様々なメディアに取り上げられたことに加え、地域の方々に直接お声掛け頂くなど、本活動が地域や社会に広く認知されたと感じる年であった。8 月の東大宮サマーフェスティバルでは、想像していたよりも多くの方に興味を持ってもらい、11 月に設置したカトリック大宮教会からは来年の活動依頼を受けるなど、活動による効果を実感している。今後は、これまで構築してきた商店街をはじめとする地域の方々との繋がりを大切に、気軽に参加できるまちづくり活動をより拡大していきたい。